

Aoyama Symphony Orchestra

第32回 定期演奏会

2019 4/6 (土)

14:00開演 (13:00開場)

会場 東京芸術劇場 コンサートホール

青山シンフォニーオーケストラ
指揮者・汐澤安彦先生に感謝して

ワーグナー

ジークフリート牧歌 WWV103

ワーグナー

歌劇「タンホイザー」序曲 WWV70

ベートーヴェン

交響曲第5番 ハ短調 OP.67 「運命」

指揮 汐澤 安彦 Yasuhiko Shiozawa

演奏 青山シンフォニーオーケストラ

チケット S席/2,000円 A席/1,500円 B席/1,000円

★高校生以下割引・B席/800円(東京芸術劇場内のボックスオフィスのみにて販売 0570-010-296)

チケット販売 チケットぴあ (Pコード/134-212) 0570-02-9999/Pコード入力、または音声認識予約

【お問い合わせ】045-713-3478 (石田) 【メールアドレス】webmaster@aoyama-symphony.com

演奏曲のご案内

ワーグナー・ジークフリート牧歌

1870年12月25日、ワーグナーの妻コジマへ誕生日及びクリスマスのプレゼントとして贈った田園気分一杯の曲です。短い導入に続いて現れる主題は、1876年初演の歌劇「ジークフリート」第3幕からの「愛の平和」の旋律になります。原題は「フィーディー（息子であるジークフリートの愛称）の鳥の歌とオレンジ色の日の出をとまなうトリーブシェン牧歌」です。ゆったり伸び伸びとした曲想は愛に溢れたワーグナーの優しさを感じます。

ワーグナー・歌劇「タンホイザー」序曲

この歌劇は1845年に初演され、中世ドイツの伝説のもとにワーグナー自身が台本を書きあげました。物語の始まる高揚感に溢れた序曲であり、曲全体にワーグナー独特の重々しくも美しい旋律が流れます。騎士タンホイザーは領主の姪であるエリザベートと清い愛を交わしながらも、官能の女神ヴェーヌスに溺れて苦悩の日々を送ります。ローマ法王から許しをもらえない中、エリザベートの自己犠牲で救われたタンホイザーはその場で息絶えてしまいますが、二人は天国で結ばれます。

ベートーヴェン・交響曲第5番「運命」

全編を通して力強くエネルギーに満ち溢れた交響曲です。1807年から1808年に掛けて交響曲第6番「田園」と並行して作曲されました。26才頃から始まった難聴が30才頃には聴覚喪失となりましたが、人一倍悩んだ末に驚異の立ち直りを見せ、意欲的な作曲活動を行いました。この第5番もその環境の中で作曲され、不屈の精神を感じる第1楽章、第2楽章に於ける平和的で美しい旋律、再び闘争へと駆り立てる暗示的な第3楽章、そして光明を確信するダイナミックで感動的な第4楽章で構成される名曲中の名曲です。ミステリアスな小説を読破した様な、そんな心地良い満足感が残ります。

青山シンフォニーオーケストラと汐澤安彦先生

1988年に創立記念演奏会を開催して以来、春の定期演奏会開催を中心としたクラシック音楽の演奏活動を行っています。青山学院管弦楽団のOB・OG有志がこのオーケストラを立ち上げ、1987年、指揮者に汐澤安彦先生をお迎えして本格的な演奏会活動が開始されました。青山学院OBオーケストラの名称を1993年に市民オーケストラである「青山シンフォニーオーケストラ」と改名し、幅広い団員構成の中で現在に至っています。

私共は演奏をする側とご来場頂いたお客様との一体感を基調にプログラムを組み、今後も華やかで心に響く演奏

活動を継続してまいりますので、今後とも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

尚、32年間、変わらぬご指導と誰よりも熱い指揮を頂いた汐澤安彦先生は、今回の32回目で当団の常任指揮者をご勇退されます。創立当初から常任指揮者の立場として辛抱強く温かく導いて下さいましたこと、団員一同深く感謝を申し上げます。汐澤先生から教え頂いた音楽への追及を今後も大切にし、更なる音楽活動を続けてまいります覚悟です。先生の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。



始めましょう、安らぎの住まい造り

株式会社ウィズホーム

代表取締役 星野 秀樹

横浜市西区北幸2-5-17 横浜NSビル2階

TEL.045-323-3051 <http://www.withhome.info>

問い合わせ info@withhome.info